

消 防 演 習

これが 火消しの心意気



①



②

消防団員の団結を高め、防災技術を向上するとともに、市民の防火意識を向上させようと、盛岡地区最大規模を誇る平成19年度市消防演習は6月24日、松尾総合運動公園多目的運動場を主会場に行われました。

統監の田村正彦市長が見守る中、市消防団(渡辺東六団長の団員と、市婦人消防協力隊(津志田レ子隊長)の隊員合わせて740人、消防車両63台が出動しました。晴れ渡る青空の下、新規格

で統一された真新しい市消防団の訓練服に身を包み、団員は整然と整列。隊員とともに田村市長の入場を待ち、演習が開始されました。

居並ぶ団員と隊員を前に、田村市長は「日ごろの活動の成果を十二分に発揮し、消防の使命と責務を再確認してください」と訓示。消防活動への功績を顕彰する感謝状や、無火災地区の分団などへ表彰状が贈られました。

渡辺団長から特別点検開始申告がされ、観閲が始まりました。有事に備えて、団員が日ごろ手入れを行っている機械器具や装備が適正に整えられているか点検し、消防精神と士気の高さを確認しました。

いよいよ訓練の開始です。まず最初にラッパ隊、鼓隊、カラーガード隊による吹奏訓練が行われ、信号ラッパやドリル演奏を華やかに披露。続いて部隊訓練が行われ、統制の取れた部隊行進で団員の規律の高さを示しました。

次は松野保育所幼年消防ク

ラブ員によるかわいらしいミニ救急車、ミニ消防ポンプ車の操法。さらには市内の保育所、幼稚園の園児178人による「火の用心パレード」が行われ、会場は和やかな空気に包まれました。津志田隊長の指揮の下、婦人消防協力隊と少年消防クラブ合同での消火訓練と心肺蘇生法訓練を行い、防災意識を高めました。

ポンプ操法訓練では、各地区の消防訓練大会で優勝した分団などによる自動車ポンプと小型ポンプ操法を披露。日ごろ鍛えた高い技術が遺憾なく発揮されました。

消防車両57台による放水訓練は圧巻の一言。さらに防災へりによる救助訓練なども行われました。最後に団旗と協力隊旗を先頭に押し立てて堂々たる分列行進を行い、心意気を示しました。

団員と隊員の高い士気と団結を示し、講評官の阿部勉盛岡地区広域行政事務組合消防本部消防長から「極めて優秀」と最高の評価を受けました。



5



3



4



7



6

写真の説明

①消防の誇りを胸に堂々と分列行進しました②統監による観閲を受ける団員③防災ヘリ「ひめかみ」による救助訓練を行いました④幼年消防クラブ員によるかわいらしいミニ救急車操法⑤放水訓練では天まで届く美しいアーチを描きました⑥婦人消防協力隊と少年消防クラブ員によるバケツリレー消火訓練⑦正確で迅速なポンプ操法訓練を行いました